

新型コロナウイルス感染抑制に向けた行動宣言

新型コロナの感染が確認されてから約1年半が経過したものの、感染の波はいまだ衰えず、重症者数の高止まりや医療体制の厳しい状況が続いている。この間の医療従事者の献身的なご尽力、外出や営業の自粛をはじめとした国民や事業者の皆様のご協力により、感染爆発の事態は避けられてきたが、現在流行している「アルファ株」よりもさらに感染力が強いとされる「デルタ株」が全国各地で確認されるなど、新たな変異株により我々の暮らしが脅かされる状況が続いている。

他方、感染拡大の防止と社会経済活動正常化の切り札となるワクチンは、我が国においても医療従事者や高齢者の接種が進んできており、65歳未満への接種も近いうちに開始される。コロナ禍という長いトンネルの出口がようやく見えてきた現在、これまでの国民や事業者の感染防止対策の努力を無にしないためにも、我々は国や市町村、医療機関等とも連携してワクチン接種を加速するとともに、感染者の早期発見・追跡・入院治療のための「検査」や「積極的疫学調査」の徹底と医療提供体制の強化を図る。併せて、新しい変異株への対応や次の新興・再興感染症に備えるため、この度の教訓を踏まえて、地域の保健・医療体制を再構築する。

我々47人の知事は、今こそ心一つにしてこの危機を乗り越え、住民の命と健康を守るために総力を挙げることをここに宣言する。

1. 変異株を含めた新型コロナウイルス感染拡大防止

感染力が強いとされる変異株への対策も含め、基本的な感染拡大防止策を徹底することが現下の対策の根幹であり、検査と積極的疫学調査により都道府県・保健所が感染ルートを探知しデルタ株を封じ込めるよう徹底する。また、感染の再拡大に備え、感染者に必要な医療を提供できるよう、病床・宿泊療養施設や医療従事者の確保に全力で取り組む。

2. ワクチン接種の推進

集団免疫の早期獲得に向けて、全国の先進事例の横展開など含め、国・市町村及び医療機関等と連携し、すべての地域において円滑かつ迅速に希望する方へのワクチン接種が進められるよう総力を挙げて取り組む。

3. 教訓を踏まえた保健・医療体制の再構築

これまでの感染の波の中で各地域が得た新型コロナウイルス感染拡大防止対策における好事例や教訓を共有し、パンデミックに国全体で対処できる今後の危機管理のあり方について検討を深め、次の新興・再興感染症などの危機的事象にも耐えられるよう、人材の確保も含め、保健・医療体制を再構築する。